



設立総会で初代会長に就任した金丸市長(後列左から2人目)=都内で

館山市長が初代会長に

「恋人の聖地」観光協会設立 連携して聖地活用へ

館山も認定されている「恋人の聖地」の観光協会が設立された。関連す

る自治体、団体でつくる全国組織で、連携して観光、地域振興を図ろうという取り組み。19日に都内で設立総会があり、初代会長には館山市の金丸謙一市長が就任した。

恋人の聖地は、地域活性化などを狙いに「NPO法人地域活性化支援センター」が認定しており、館山は昨年7月に「鏡ヶ浦から富士の見えるまち館山」として認定を受けている。

今年には聖地認定事業が始まって10年目の年でもあり、137か所の恋人の聖地の自治体、89か所ある「サテライト」施

設、スポットの企業、団体で観光協会を組織した。協会では、各地の聖地

の関係者が連携を強めることで、若者たちの新たな旅行スタイルとなる「恋人の聖地ツーリズム」実現を目指すという。

具体的には▽一緒になつての情報発信▽会員が連携して聖地を周遊する仕組みづくり▽聖地を活用した着地型旅行商品を共同開発—などに取り組む考えだ。

設立総会には、選定自

治体の首長や関係者ら75人が出席。会員からの推薦があり、館山市長が会長に選ばれた。市の担当者は「聖地活用に向けたプロジェクトチームを組織し、市を挙げた取り組みが評価されたのでは」と話す。

会場には、発起人代表の華道家の假屋崎省吾さん、ファッションデザイナーの桂由美さんらも訪れ、華々しくスタートを